Future SIGHT

株式会社大風印刷

の需要が減少していると共に、デジタル化の 気の行方である。長引く不景気の中で、印刷 生きのこれるかを考えているところである。 にその技術の変化に対応して印刷産業の中で どまらず、業態まで変化してきている。 いか きた。まさに、製作現場の工程変化だけにと ねば仕事を継続していくことは難しくなって ますます近くなり、シームレスな関係を保た けでなく、対クライアントとの関係も工程ト 急激な発展とともに印刷会社内部の合理化だ 近年印刷業界は、やはり気になることは景

> り組んで来た。 ドよこんにちは」の相言葉で、写真植字に取 勢を示して来た。「活字よさようなら、コール である。一九七六年、この年に電算写植が生 の後、一九七五年代まで延々と続いて来たの まれコールドタイプ、すなわち写真植字が大

い印刷には適さないとされ、よりきれいにす のだと思う。孔を通して印刷するため、美し クライアントのニー ズに合ったため需要も多 通して紙にのせる印刷方法である。これが タイプライターで原紙に孔をあけ、インキを 憶している。 数年後、孔版タイプ時代を迎え 興をめざし、躍動を始めた時でもあったと記 で読んだ事がある。物の無い、日本全土が復 前でガリ版屋でアルバイトをしたと、ある本 二年である。当時、宮沢賢治も早稲田大学の あり、終戦後、謄写印刷を始めた。 当社は、軽印刷業からスタートした会社で 少部数で早くより安く出来る事が受けた 昭和二十

年に金属活字を使用した印刷技術を発明した

印刷は、歴史的には非常に古く、一四五五

ドイツのグーデンベルグが四十二行聖書と呼

形や種類にきびしくなって来たので、写真植 字による組版を取り入れて顧客の満足度に全 ある。しかし、経済が安定し印刷物も文字の 力で投入した。 オフセット印刷しては、となり、これが写真・ るためにインクを通すのではなく光を通して 文字とも非常にきれいな印刷物となったので

T・Pにすばやく取り組む事が出来た。 えるようにと努力したかいがあり、現在のD なった。従来の組版が大きく変化し、よりき ら真剣に取り組み、どうにか使えるように 械と考えたのが大きな誤算であった。それか 導入したのである。電算機だから、魔法の機 れいになり、早くクライアントのニー ズに添 一九七六年、山形県で初めての電算写植を

ないでいるうちにマッキントッシュが導入さ 入って来た。当時、デジタルとは何かも知ら 九九二年に発表され、日本には翌年から ところが、デジタルについてアメリカでは

博物館による復刻版の一頁である(写真)。そ

品は、ドイツ・マインツ市のグー デンベルグ 的にもゴジック体の傑作と評価されるこの作 が世界初の大量印刷物とされている。美術史 ばれるラテン語聖書二百部を完成した。 これ

Value Sight 印

OP THE

nos m accua fua gloria i aitto ihelu modică palloe: ție plate shrmabit folioabito. Ții gla z împetă: in lecu-la leculor amen. Per filuană fielen feattent pobie ut arbitoz breuter feiph:oblectão et coultano hat elle verã grana dei in qua et flans . Salurat una ecdelia q eft in babilone corleta: er marcus file mrus . Balutar inni emi ofado fando. Arana vobie o mnibs qui effic ju collo îhelu amen. da jima tean peni apli umentii in epiam libas

Pmon prave plidė huic miido lapitice monuce elle bedarat : eilbemo: picracio quanta fit magni nudo hux ipa darina manufeltar.ifi plint augumenti inapit epia faa bii nein anolini:

Pulon per frame er apoliolus ihelu aupron p end:iBin lou nobila foxia func form i inflicia du noffri a faluato

de aplu milii-grana vobie m par ab impleatur i cognitione di et culti ihelu biii nolla: quomoto oiiii a nobie dinine viranio fue que ad vită et pie racem donata first y cognicione co d potatut nos propria gloria et untu-te-p que maxima et priofa nobis promilla doname:ur per hor efficiamini dinine colones nature-lugicus rins que in mudo é compilente corruptonem. Boe aut arram omné fubroference ministrare in fibe veltra pirtutencin virtute affr frientiä:in frieta aut abitinitiam:in abitinentia aut patientiä:in patienta allt pietaten:i perate autem amore fratemitatio: m

amore frammtang carnaté. Apr mi frankling affirm or frammer un varund nec fine feudu vos röftmet in domini nothinglu critti cognitione. Lui cni no pito funt ice : ecus é a manu emprans : oblinione accipies purgano nis vecci luor delidor. Pusproper hauce magie faragire : ur pre bona opra ceră vram vocafone a eledione faciacio. Pre cui faciere no pecabino aliquando. Siceri abundanes mini-Arabiois vobie intronue in ettini regnữ bữi nữ er faluatorie thefu cilh. Proper of nos mapia femp como ucre de hijs et quité forence à strans-ros in plant watare. Authi aut arbi-ros-spoin funt i hoctalemarlo fulotare upo i comoningue: com op whose ett depolicio ratemandi mo:lobm qo er due notter ihelue mitue figuiticaun michi. Dabo aut opera a freguenter habere voe post obirů myů:ur hou omini memoria faciatio. No cui indo das fabulas fecun notā fecun9 nobi oni na ihelu adli virua + plaenna: led forculatores fadi illi? magninudi nis. Ampies mi a bro pre honorem er gloria voce delapla ad cu huiulce modi a magnifica gloria:hic eff fili? more piledue in que muti splacui: ipm audire. Er har vocan nos audininno de edo allată; cii ellenno cum nio i mome fando, de habem? ferni oran prenici fermonê au benefacine ammiture quali lumme lummin caliginolo loco doner illucticat et luci fer oriatiu codibs viio: ter primii in-ciligenco : epomnio prophetia propria interpretatione non fir. Hon cui voluntare humana allara é aliquã do propheia:led lpiritu lando inlpirati locui füt fandi tei homines. I

ある。 う変わっていくのか頭を痛めているところで 変わり、活字の無い印刷産業となった。 規制緩和により産業区分が無くなり、

行なえる努力をし、 タルワー に注意し、デジタルデータをフィルムを通さ ントへの取り組み、 今後、 ジョンアップ等によってスピーディー クフローの構築、 印刷産業は、 特に基幹ソフトウエア+ 品質の基本である「 進行管理の徹底、 カラーマネー ジメ デジ

せられた。 こうして印刷産業は知的産業に変

には文字化けと呼んでいる)。これには苦労さ

機械で出力するため、

文字が変わる

(専門的

マッキントッシュで入力、 キュレスで出力する。

写真につい

ては日

フィ

ル

ム出力にはドイツの

出力についてはドイツのライノヘル社のハー

日本語をアメリカの

ジタルで文字、

画像を処理するようになり

九九四年からマッキントッシュによるデ

貌していき、作業場はコンピューターー 色に 今後

ņ

約半年間、

仕事にならない仕事をさせて

大風 茂吉

株式会社大風印刷 代表取締役 1937年11月15日生まれ。山形市緑町。

昭和22年大風謄写堂開業。昭和41年先代社長死去後、 大風茂吉を襲名、代表取締役に就任。昭和46年山形市 あこや町に本社移転。昭和53年山形県初の電算写植機 導入。昭和54年コピントショップ開設。昭和59年カ ラースキャナを含め、製版機器の整備と4色印刷機導 入。平成元年タイプライターに変わる、DTPシステム の設置。平成5年マッキントッシュによるDTPシステ ムの設置。平成9年山形市蔵王松ケ丘蔵王産業団地内 に本社移転。平成10年CTP(コンピュータ・トゥ ート)の導入。現在山形県印刷工業組合専務理事、 日本グラフィックサービス工業会山形県支部長。

喜ばれ、 ず刷版に流れるようなCTP(コンピュー めに役立ち、クライアントのニーズにこたえ、 めにあるのであると共に、 かねばと思う。こうした印刷産業の激動の中 準化を構築しなければならない。 さらにプリプレスシステムのデー 夕形式の標 出来るように、また、同時に刷版の検版方法 る特徴のある会社になっていきたい。 るニーズにもこたえられるよう努力するとと なければならないと思ってやってきた。 ログラミングと連携を持ちながら、 トワーク化を計り、 トゥー・プレート) でより安定した印刷物が に信頼関係を持つため、 当社は常に、 短納期・高品質・多種少量に喜びあえ 感謝され、 会社は社員の家族繁栄のた スタジオ、デザイン、 次に選ばれるようになら 誠意を持っていかな 少しでも社会のた 今後はネッ 進んで行 さら